

2021年12月22日

株式会社三菱UFJ銀行

東京センチュリー株式会社と「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、本日、東京センチュリー株式会社（代表取締役社長 ^{のがみ まこと} 野上 誠、以下 当社）との間で、シンジケーション方式の「サステナビリティ・リンク・ローン」（以下 本ローン）の契約を締結いたしました。尚、本ローンのうち、当行融資分については、「気候変動対応を支援するための資金供給オペレーション（気候変動対応オペ）^[1]」枠組みにおいて、当行が気候変動対応に資すると判断する、初のリース業界企業への融資案件となります。

本ローンは、ローン・マーケット・アソシエーション^[2]などが定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即しております。サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下 SPTs）を設定し、金利などの貸付条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

当社は、リースを祖業とし、高い専門性と独自性を強みに金融サービスを提供する企業です。経営理念として、「事業の成長に挑戦するお客さまとともに、環境に配慮した循環型経済社会の実現に貢献」することを掲げ、サステナビリティ経営を推進しており、途上国に対する低炭素技術の普及などを行う二国間クレジット制度（以下 JCM）の代表事業者を務めるなど、脱炭素社会の実現や社会インフラ整備に向けた取り組みなどを積極的に行っています。また、従業員一人ひとりの能力を最大限発揮できる働きやすい職場環境の整備ならびに健康増進や多様で柔軟な働き方を実現することで、従業員エンゲージメントの向上にも取り組んでいます。

本ローンは、3つの SPTs が設定されており、SPTs の達成状況に応じて優遇金利が適用されるインセンティブが付与されています。本ローンの SPTs は、JCM を通じた脱炭素社会実現への貢献、当社の持続的な成長に向けた職場環境の整備に資するものであり、当社のサステナビリティ戦略に合致するものです。

【サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット】

マテリアリティ	サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット
脱炭素社会への貢献	2023年12月末までに二国間クレジット制度（JCM）の想定 GHG 削減貢献量（累計）目標 49,000 トンを達成
人材力強化につながる職場環境整備	当社従業員の年次有給休暇取得率 70%以上を維持
	当社従業員の男性育児休業取得率 100%を維持

【本ローンの概要】

契約締結日	2021年12月22日
実行日	2021年12月27日
アレンジャー	三菱UFJ銀行
コ・アレンジャー	静岡銀行
エージェント	三菱UFJ銀行
組成金額	580億円
契約期間	4年
資金使途	事業資金
貸出人	静岡銀行、福岡銀行、秋田銀行、七十七銀行、八十二銀行、 常陽銀行、南都銀行、千葉銀行、三菱UFJ銀行

尚、本ローンでは、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPTs の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

当社のプレスリリースは以下リンクをご参照ください。

（ウェブサイトへのリンク） <https://www.tokyoCentury.co.jp/jp/ir/release/>

- [1] 当行は日本銀行における気候変動対応を支援するための資金供給オペレーション（気候変動対応オペ）の対象先に選定されております。詳細については以下のリンクをご参照ください。
https://www.bk.mufg.jp/info/pdf/20211203_kikouhendou_shien.pdf
- [2] 欧州、中東、アフリカのシンジケート・ローン市場の流動性、効率性、透明性の改善を目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に60ヶ国以上約700機関以上が加盟。

以 上